

岩手県難聴言語障がい教育研究会が 結成50周年を迎え記念誌を発刊しました

2021/3/4

岩手県内の「きこえの教室」「ことばの教室」「ＬＤ等通級指導教室」「幼児教室」の先生方の研究会である岩手県難聴言語障がい教育研究会が、今年度結成50周年を迎え、記念誌を発刊されました。親の会からもお祝い申し上げます。

お祝いのことば

岩手県難聴言語障がい教育研究会が結成 50 周年を迎えられ記念誌を発刊されますこと、心からお祝い申し上げます。
昭和45年、新しい教育分野の研究組織として岩手県難聴言語障害教育研究会が結成され、以来今日まで、きこえ・ことばに障がいをもつ児童生徒へのより良い指導法を研究され、脈々と受け継がれて来られました事は、子どもを通級させる親として感謝に堪えません。また、日頃から親の会にも特段のお力添えを頂いておりますこと、心から感謝申し上げます。
通級による指導体制が特殊教育から特別支援教育に転換され、指導する先生方の配置も教員定数法に準ずる措置に移行されました。子どもたちのニーズが多様化しているなかで専門的で手厚い指導が期待されるとともに、保護者への支援も充実するなど、特別支援教育の発展に向けたご配慮とご理解を頂きましたことに深く感謝申し上げます。
親の会は、常に子どもを真ん中に、先生と親とが両輪となって子ども達を適切に指導できるよう、教育環境整備をお願いしてまいりました。お陰様で、平成 25 年に県内 33 市町村全てに「ことばの教室」開設という悲願を達成することができました。
岩手県の通級による指導の対象の子どもたちは、当初の「言語障がいや難聴」に発達障がいも加わりました。当然の対象の拡大に対応した親の会のあり方も求められております。これからも「だれでも、いつでも、どこでも」適切な教育を受けられる体制をめざし活動を進めてまいります。今後もご指導賜りますようお願い申し上げます。
また、東日本大震災や連続する台風による風水害、その状況の下でも幾多の困難を乗り越え指導を継続されました事には、本当に頭が下がりました。今日の新型コロナウイルス感染禍の中でもいち早く「通級指導教室」の指導環境を整えて下さり、子どもたちへのご指導とともに保護者への支援にも適切かつ柔軟な対応をしていただき感謝申し上げます。
結びになりますが、岩手県難聴言語障がい研究会の今後のますますの充実と発展をお祈りいたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。
会長 主 濱 友 子

NPO法人全国ことばを育む会「ことば」300号 ～特集・300号記念「ことば」誌の役割を考える～ 岩手県初の「ことばの教室」担当(県親の会相談役)の菊池義勝先生の記事が掲載されました

2021/3/4

NPO法人全国ことばを育む会「ことば」300号に、岩手県初ことばの教室担当(県親の会相談役) 菊池義勝先生の「『ことば』の編集と『ホームページ』の構築」が掲載されました。菊池先生が全国の「ことば」の編集に携わって編集計画を立てて取り組まれたことや、新シリーズをスタートしたり、より幅広い利用を願って特集テーマに取り組まれたこと、ホームページの使命等について等についてまとめられています。どうぞご覧ください。

NPO法人全国ことばを育む会「ことば」299号に 気仙小ことばの教室の佐藤先生の記事が掲載されました

NPO法人全国ことばを育む会「ことば」299号に、陸前高田市立気仙小学校 ことばの教室 佐藤 司先生の「幼児教室の設置の取り組みと幼小の連携の構築」が掲載されました。幼児教室設置までの取り組み、幼児教室のによる早期からの実態把握、小学校のことばの教室との連携や通級システムの引き継ぎ等についてまとめられています。どうぞご覧ください。

県親の会だより 100号記念特別号をご覧ください

100号記念企画として、親の会活動に深く関わっていただいている方々のお話や、これまでの会報に掲載された記事がいくつかピックアップされています。どうぞご覧ください。



❁ 令和2年度親の会活動にあたって

親の会の活動につきましては、日頃からご理解とご協力を賜りありがとうございます。

今般の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度の本会の活動におきましても、事業ができないなど影響があるものと判断致し、総会をはじめ、親子合宿研修会、幼児期の言語研修講座など、当面活動を中止・延期することになりました。

総会につきましては、本来であれば各支部代議員にお集まりいただき開催するところでありましたが、今回は特例として書面表決により開催いたしました。書面での議決とし、各支部から書面表決書をご提出いただき、書面開催に係る議案について過半数の賛成をもって可決されましたことをここに報告致します。紙面をお借りして、改めて支部・会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

今年度のブロック研修会につきましては、あくまでも活動の制限を受ける中での計画でしたので、開催が可能な状況になった暁には、各ブロックでご判断いただきますようご協力をお願いいたします。

各支部独自の活動につきましても、コロナウイルス感染症の終息状況を把握され、無理のない活動となりますようご検討をお願いいたします。

活動がままならない状況の中、せめて活字で皆さんに届けられたらとの思いで、会報「親の会だより」次号100号を記念号として発刊することになり、現在準備を進めております。多くの会員の皆様の目にとまりますよう、これまで通りHPに掲載をしますが、県内の通級指導教室にも配布を考えております。

さて、コロナ禍が心配される中ではありますが、親の会では今、何が求められ、必要とされているのかを把握し、解決に向けて努力し続けてまいりたいと思っています。どうか、今後も県内の各教室担当の先生方、会員の皆様方のご協力を賜りますよう、役員を代表しましてお願い申し上げます。

令和2年7月12日

会長 主濱友子